

令和元年度(平成31年度) 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	豊丘村の「おいしい果物ギュギュっとビール」開発事業
事業主体 (連絡先)	豊丘村
事業区分	(8)その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,280,180 円

事業内容

農業の課題の打破や、豊丘村のPRのため、『豊丘村の「おいしい果物ギュギュっとビール」開発事業』を行いました。

【特産品研究開発】

豊丘村産の果物を、ビール(税法上は発泡酒)に加工し、果物の販路拡大を図ります。実行委員会を立ち上げ、今回は豊丘村を象徴する「桃」を使用した商品開発に取り組みました。

【特産品PR・販売促進活動】

- ・「豊丘村版オクトーバーフェスト」と題した解禁イベント、豊丘村最大のイベント「とよおかまつり」などのイベントにて販売し、販売促進・PRを行いました。
- ・村内飲食店・宿泊施設と連携して販売ルートを構築し、SNSや店内外のPR広告を作成しました。
- ・新たな特産品を広くPRし、県外のファンを増やすのと同時に、マーケティングリサーチを行うため、銀座NAGANOにて対面販売を行いました。



【実行委員会での研究開発の様子】

事業効果

- ①生食用としてJAへ出荷ができない桃の出荷を呼びかけ、10名の生産者が参画しました。農産物(果物)の販路と農業所得の向上が見込まれます。また、生産者が研究開発や、イベントに参加することにより、意欲向上にも繋がりました。
- ②銀座NAGANOでの対面販売・都市部での販売により、豊丘村を知らない人へも、商品から豊丘村や豊丘村＝果物・桃ということを知ってもらうことができました。
- ③お土産品として道の駅で販売したところ、店頭に並べるとすぐに売れていく状況でした。「豊丘村ならではの」、特色ある特産品となります。
- ④10店舗の飲食店・宿泊施設で販売を行いました。飲食店で提供していることで商品を知った人もおり、PRにも繋がりました。

【目標・ねらい】

- ①農産物を使用した特産品の開発・製造による農業振興
- ②特産品PRによる豊丘村の知名度向上
- ③お土産品として販売することによる道の駅への誘客
- ④村内飲食店・宿泊施設との連携による、販売ルート構築

※自己評価【A】

【理由】

生産者や地域住民が参加して特産品づくりやイベント行い、意欲向上や愛着に繋がった。また、豊丘村の新たな特産品として多くの人へPRでき、豊丘村・豊丘村の果物の知名度向上が図られた。

今後の取り組み

今後は、「村外」「地域外」をターゲットとして広くPRし、商品から豊丘村を知ってもらい、豊丘村＝おいしい果物が豊富にある村というイメージを定着させ、商品だけでなく、桃の購入・桃狩り等の観光へも波及させていきます。また、「豊丘村のファン」を増やし、現地にも足を運んでもらえるよう、地元での販売だけでなく、都市部での外販の際の販売や、ふるさと納税の返礼品にも活用していきたいです。

今後は、四季折々の果物でもビールを製造できるよう、生産量の安定や品質向上など、今後の製品化へ向けての課題を、生産者と共同で研究していきます。